

# 議会だより

## おかげさ



防犯パトロール車(青パト)購入 概要版	2
一目でわかる 賛成・反対表	4
①後期高齢者医療に関する条例の制定 ②平成20年度岡垣町一般会計予算 反対討論VS賛成討論	5
一般質問	8
住民の声	12
道路特定財源の確保に関する意見書 意見書	13
編集後記など	14



定例会

3月

概要

# 平成20年度一般会計・各特別会計予算

## 慎重審議を経て原案通り可決

一般会計当初予算は74億9100万円（前年比1・9%減）

第1回定例会は3月5日から3月27日までの23日間の日程で開催され、平成20年度一般会計予算を含む21議案と、諮問2件の審議を行いました。

主なものは

① 諮問2件

人権擁護委員の推薦について

神屋 洋子さん（上畑区）新任

成富 啓倫さん（内浦区）新任

② 岡垣町職員の勤務時間及び休日、休暇等に関する条例及び岡垣町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正

③ 岡垣町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正

④ 岡垣町後期高齢者医療に関する条例の制定

⑤ 指定管理者の指定 2件

⑥ 平成19年度岡垣町一般会計補正予算

⑦ 平成20年度岡垣町一般会計予算

⑧ 意見書 1件



岡垣小 自作のお弁当おいしいね

平成20年度 一般会計・特別会計当初予算額		
一 般 会 計		74億9100万円
特別会計	国民健康保険事業	36億 985万円
	老人保健事業	4億1662万円
	後期高齢者医療	4億1182万円
	住宅新築資金等貸付事業	141万円
水 道 事 業 会 計	収 入	7億5886万円
	支 出	9億4374万円
下 水 道 事 業 会 計	収 入	21億1117万円
	支 出	24億7788万円

※水道・下水道事業会計は公営企業会計のため、収益的、資本的な収入支出を合算して表示しています。





### 平成19年度一般会計補正予算

○一般会計は1億9669万円を減額し  
総額で75億5151万2千円に

○一般会計へ基金からの繰入金

当初予算の6億2000万円に対し、  
5億3000万円減額し9千万円に

○繰越明許費

(翌年度に繰り越して使用できる経費)

\*保健健診システム開発業務委託事業

651万円

\*健康増進計画策定業務委託事業

388万円

\*内浦小学校耐震化事業 8175万円

○国民健康保険事業は1億1858万7  
千円を追加し、総額37億円の規模へ

### 平成20年度一般会計予算

○基金より3億9千万円を繰り入れ財政  
調整。

○三里松原の自然環境調査と、荒廃森林の  
再生事業

393万円

○障がい児学童保育および障がい児デイ  
サービス事業

1704万円

○病児・病後児保育事業

76万円

○海老津駅周辺防犯カメラ設置

213万円

○防犯パトロール車購入  
(青パト) 392万円

○住居表示整備事業

(9次) 1071万円



### 国民健康保険事業特別会計予算

○特定健康診査事業(メタボリック健診)  
1751万円

### 全員協議会

○議会の改革と活性化方策について

\*議会の住民懇談会実施要領について

\*実施時期は3月の定例会後

○JR海老津駅南側開発調査について

\*道路整備の検証

\*開発手法の比較検討 他

○岡垣町行財政構造改革に係る財政シ  
ミュレーションの見直しについて

\*約2500の事務事業を制度的、財政  
的な面から経費の徹底した削減に取  
り組めます。





## 21 議案ほか諮問・発議について

### 議員の賛成○・反対●・退席 退・欠席 欠

採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
3月 5日 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	結 果	石井	久保田	三角	西田	木原	下川路	宮内	大堂	平山	竹内	曾宮	山田	市津	矢島	横山
3月 7日 岡垣町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、岡垣町の単 純な労務に雇用される職員の給与の種 類及び基準に関する条例の一部を改正 する条例、平成19年度補正予算4件、 道路特定財源の確保に関する意見書 その他議案		要祐	秀昭	善彦	陽子	信次	勲	實生	園治	弘	和男	良壽	隆一	広海	恵子	貴子
3月27日																
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (2件)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町職員の勤務時間及び休日、休暇等に関する条例及び岡 垣町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正 する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町の単純な労務に雇用される職員の給与の種類及 び基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町母子家庭等医療費の支給に関する条例の一部を 改正する条例	賛成多数 可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
岡垣町重度心身障害者医療費の支給に関する条例の一 部を改正する条例	賛成多数 可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
岡垣町後期高齢者医療に関する条例の制定について	賛成多数 可決	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
岡垣町国民健康保険条例の一部を改正する条例	賛成多数 可決	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について（駅前第1駐車場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
指定管理者の指定について（駅前第2駐車場）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度 岡垣町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予 算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度 岡垣町水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成19年度 岡垣町下水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町一般会計予算	賛成多数 可決	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計予算	賛成多数 可決	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町老人保健事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計予算	賛成多数 可決	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会 計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成20年度 岡垣町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
内浦小学校耐震改修工事請負契約について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道路特定財源の確保に関する意見書	賛成多数 可決	○	●	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○



# 討

# 後期高齢者医療に 関する条例の制定

# 論

## 反対

平山 弘 議員

この制度の目的は、75歳以上の高齢者を特別扱いにして医療費を削減することです。

厚生省は高齢者の心身の特性を①治療の長期化、複数疾患への罹患が見られる②多くに認知症の問題がみられる③いずれ避けることができない死を迎える、と言っている。

病気がかりする年よりは早く死ぬ、と言わんばかりです。保険料を滞納すると保険証を渡さないという無慈悲な制度です。

保険証がもらえずに病院に行けないで、死亡するということがあってはならない。そんなことがおきないように、町長に喚起する。

西田 陽子 議員

町の保険料の徴収における取り決めで、問題は督促の延滞金と罰則のところでは。

年14.6%の加算や職員の質問に対して答弁拒否をした場合、10万円の罰金が課されます。後期高齢者は一様に目減りする年金暮らしの人たちです。その方たちに追い討ちをかけるかのごとき条文は実際には行使されないとはいえ、条文のある限り運用の仕方によってはいかようにもなります。岡垣町は4135人が該当します。普通徴収は1437人で95%の徴収が見込まれているが、実現できるか疑問。高齢者が安心して終末を迎えられるような全体の社会保障の底上げが政治の役割です。



## 賛成

竹内 和男 議員

新制度で、①診療回数や掛け持ち診療が制限される。②病院から追い出される。③高齢者への「医療差別」が起きるなど一部の野党が喧伝しているが、そんなことはない。

新制度では「後期高齢者診療料」が導入され、月に何回も通院して治療や検査を受けていた人は「定額払い」の拡大で経済的な負担が少なくなる。さらに、被用者保険の扶養家族になり、毎月の保険料を支払っていない約200万人の後期高齢者は4月からの半年間は全額免除、続く半年間は9割軽減するなど配慮されている。冒頭述べたように医療機関へのフリーアクセスは担保されている。

木原 信次 議員



岡垣町後期高齢者医療に関する条例は、岡垣町が後期高齢者の保険料を徴収することを義務づけ、普通徴収に関わる保険料は第一期から第九期まで、とその手順等を位置づけています。

又、被保険者（納付義務者）が納期限までに完納しないときは、催促状を発し、滞納に対しての延滞金の算定、罰則等を定めたもので、これは全国的な規則です。

岡垣町では、当事者に対して事情を把握し、人道的に処置する。との意志の表明があり、この条例に反対すべきものはない。と申し上げ、賛成の討論とします。



# 岡垣町 計 予 算

## 論

### 反対

#### 平山 弘 議員

地方財政が苦しいのは、国の「構造改革」による地方交付税の削減や生活密着型公共事業予算の削減、住民福祉財源を地方に押し付けているからです。

岡垣町の「構造改革」も、国と同じ手法で進められて住民と職員に大きな負担となっている。老人憩の家利用者的大幅減など「構造改革」に問題があることを示している。

イオン出店による地元商業、農業への影響、高齢者の買い物への影響など、町づくりにとって大きなマイナスである。

生活道路予算の2000万円削減や、吉木小学校の給食の民間委託も、食育の上で問題である。

#### 西田 陽子 議員

3億9千万円の貯金を取り崩し、74億9千万円の緊縮財政である。今回食糧費の監査請求の署名を集めているとき、「岡垣町は夕張のようにならないかね」という心配の声や、他の自治体では食糧費はとくに削り尽くしたという声が返ってきた。子育て予算等一定程度は評価する。が、税金や後期高齢者医療制度等でさらなる負担を住民に課すならば、その痛みを自分の痛みとして感じる職員の意識改革は必要だ。また公金の使い方において、一円の無駄も許さない金銭感覚が問われている。

議員の費用弁償等見直しもある、食の安全性が今日ほど揺らいでいるときはない。この時期に、吉木小の給食の民間委託には反対だ。

#### 久保田秀昭 議員

施政方針には町民の暮らしに対する思いが全く感じられない。議案審議の中でもあらためて強く感じた。なぜなのかという疑問に思っている。

町は良い悪いは別にして岡垣町行財政構造改革に基づき一生懸命努力をしているが、全て財政論からのもので、政治的展望を与えるものに全くなっていない。そこが最大の課題である。もう一つの問題が、自分で決めた構造改革から抜け出せないというジレンマに陥っているのではないかとも思っている。構造改革の見直しを求めます。

国民が声をあげれば政治が変わる事に確信を持ちましよう。

### 賛成

#### 大堂 圈治 議員

事業の裏付けとなる、財政の安定基盤の確立は重要であり、平成28年度までの財政シミュレーションが作成された事は評価出来ます。

行財政改革は先ず、無駄を省くことが先決であり、従来事業を根本から見直して住民ニーズに適確に応えていく事が何より大切です。その目的は住民福祉の向上を目指すものでなければなりません。

改革推進の中で生活弱者と言われる、障害者や高齢者のセーフティネット構築も十分に留意する必要があります。

将来の町づくりを目指した、調和のとれた予算案として、期待し今後も議員として監視・批判をしていきたいと思っております。





# 討

# 平成20年度 一般会

宮内 實生 議員



平成20年度予算は①岡垣の水と緑を守り育てる取り組みとして、三里松原の自然環境の調査費、荒廃した森林の再生事業の調査費、自然環境に配慮したハイブリッドカーの購入②地域経済の活性化と雇用創出のための地域再生計画策定、コミュニティバス運行見直しのための地域公共交通協議会の設置③障害者福祉予算として、障害児学童保育や障害児デイサービス事業④子育てしやすい予算として、妊産婦健診の公費負担の増が計上されている。

町長の強力なリーダーシップで、全職員がやる気とやりがいのもてる職場環境の整備を強く要望して賛成とする。

下川路 勲 議員

岡垣町は他の町村よりも、いち早く行財政構造改革に取り組み、より一層の歳出削減と歳入増加に努め、その収納率の成果が出てきているものの、少子高齢化施策や、障害者施策などの扶助費の増大や、三位一体改革の影響で予測以上に厳しい財政状況となり、基金からの繰り入れで財政収支のバランスを保ち、経常経費の徹底した削減も講じている。

さりとて食糧費に伴う監査請求も出て、その結果は4月28日に明らかになるものの、行財政はとどまることなく執行せざるを得ない。住民には安心安全を与えなければならぬ立場からこの議案に賛成するものであります。

三角 善彦 議員



岡垣町の健全運営のためには、基金の繰り入れを行うことなく財政収支のバランスを保つための更なる事務事業の見直しが求められますが、行政改革の難しさは、さまざまな住民の要望を予算化しているところにあると思います。

平成19年度の決算から地方財政健全化法が実施されま

住民は、メディアを通して自治体間の財政比較が容易にできるようになるため、これからは目に見える形で、効率性の高いムダのない自治体運営のあり方を示すことが求められます。

岡垣町のまちづくりは、住民との信頼関係なくして成立しないことを確認します。

竹内 和男 議員

本予算には、4つの観点から賛成したい。①安全安心のまちづくりとして、桜公園に耐震性の防火水槽が設置されること、第二分団に消防車が購入されること。②岡垣町の都市計画が実行されるため、後退道路予算が計上され、及び地区計画が予定されるなどまちづくりが進展すること。③扶助費として、児童手当・乳幼児医療費の確保や妊婦健診の拡充・病児病後児保育の新設など児童福祉等がより一層進展すること。④地域公共交通の見直しでは「地域公共交通協議会」で、住民の足の確保を図ると共に、中心市街地等の発展を図ろうとされていること。





# 町政を問う

## 一般質問



**下川路**

団塊の世代アンケート後の取り組み活用について

**町長**

五つのテーマを設けて、講座を実施し高い評価を受けた



下川路 勲 議員

**下川路** アンケート後の進捗状況を聞きたい。

**教育長** 約300名の方から引退後の過ごし方、生き方や地域社会での関わりについてご意見をいただき、半分以上の方が経済面と健康維持について関心があり、又約6割の方がボランティア活動やまちづくり活動もやってみたいという意欲がありました。

**下川路** 活用のきつかけ作りについて聞きたい。

**教育長** 退職後の経済プラン



はつらつと元気に暮らすために、豊かで住みよいまちづくり等五つの柱を設け、団塊世代のライフスタイル講座を開設し受講生から非常に高い評価をしていただきました。

**下川路** 松ヶ台の若年層の転入により児童が増加しているがその対応を聞く。

**教育長** 当面はプレハブ教室で対応し、校区見直しも視野に入れて検討したい。

○バス路線について

**下川路** バスの便数が少ないので、バス待ちの間、親切そうな方から声をかけられ送って



山田小プレハブ教室

もらう中で、財布から現金を抜き取る事件が発生しているので、中西部方面にもコミュニティバス運行を検討してはどうか。

**町長** 20年度に、コミュニティバスも含めた町の公共交通体系整備計画の見直しを予定している。この計画の中で受益と負担の原則を踏まえ、方向性を示したい。

**下川路** 走行時間帯によっては乗客がいなく一人の場合もあるが。

**町長** それらも含めて詳細に検証したい。



# 久保田

## 公立保育所の増設を求める

### 町長

#### 諸制度の調査・研究をします



久保田秀昭 議員

**久保田** 親の労働条件が厳しくなり、又暮らしも苦しくなっている中で、子育てと仕事の両立が困難になっている。働き続ける為に必要な施策が保育所です。ところが待機児童が年度末の現在でも存在しています。その一方で、父母には年3回勤務証明の提出を求めています。親の労働条件は厳しい環境にあります。一時的に仕事がないことやリストラ、倒産、解雇もある。仕事を探し、見つければ即働かれる状況が必要です。ところが、勤務証明が取れなければ即退所とも聞いている。児童福祉法に基づく父母の働く権利保障及び子どもの発達権保障ができるように保育所行政

施策の拡充を求めます。

**町長** 児童福祉の充実を図るため、本町の機構改革の一つとして「こども未来課」を創設し、仕事と子育ての両立支援などを重要な課題としてこれまで取り組んできました。待機児童解消のため民間保育所施設の認可化による入所定員の拡大等に取り組んできました。今後

も保育需要が高まることから、待機児童の解消を図るため、既



こっちをむいて

存児童施設などを活用した諸制度の調査・研究を行っていきます。

**久保田** 保育所は憲法25条の生存権を乳幼児期において具体化するための施設ですし、親の働く権利保障と、親の社会

参加等を保障する施設です。公立保育所を増やし、安心して働ける環境作りを求める。

**町長** 待機児童の解消等については既存の児童施設等活用した諸制度の調査・研究をします。

# 石井

## 中心市街地活性化事業で町が実施主体の残事業は

### 町長

#### 民間活用手法なども検証し取り組みたい



石井 要祐 議員

**石井** 中心市街地活性化法に基づく岡垣町の基本計画の整備事業で、町が実施主体の残事業はどうなっているか。

**町長** 海老津駅前地区の土地区画整理事業では、平成16年に当該地域の地権者及び事業者に調査を行なったがインフラ整備等を望む反面、総合的な区画整理事業の実施には慎重な意見が多く早期実現は難し

いとの考察を行なった。

**石井** 駅前商店街の空き地対策はどうなっているか。

**町長** 空き地については地権者の協力を得て、町が地権者との賃貸契約を締結して商工会が中心市街地のお買い物物駐車場として活用している。今後の中心市街地の活性化には必要な用地である事は充分認識しており、継続して賃借するため地権者と協議した上で、必要経費を来年度当初予算として計上している。

**石井** 空き店舗対策についてはどうなっているか。



整備された昭和通り

**町長** 中心市街地活性化基本計画で商業等の活性化のための事業の一つとして計画されている。これまで商工会と協議を行ってきた。次年度、商工会が調査研究に積極的に取り組まれ、具体的な空き店舗対策を計画する予定と承知している。その結果に基づき行政としての支援を検討したい。

**石井** イオンスーパーセンター出店後の駅前周辺の活性化についての考えは。

**町長** 中心市街地の活性化については従来どおり取り組みを継続して進めたい。又、昨年企業誘致条例を改正し中心市街地における特例を設け適用基準を緩和した。



# 矢島

## めざせ学校教育環境の改善を！

### 町長 真剣に取り組んでいきたい



矢島 恵子 議員

○吉木小学校の施設改修について

**矢島** 「学校の施設が老朽化し、特にトイレの状態が悪く、配水管・便器の老朽化・パイプの細さにより、便の詰まりが頻繁に起き、また、便器の老朽化で臭いが発生し、廊下にまで悪



臭が漂い、不衛生さも感じる状態であり、大変困っている」との話があり、現場を視察しましたが、現状は話の通りでした。

教育委員会は、子ども達も心身共に健やかに育つために、何をなし得る所でしょうか。

町長は、いくら財政が厳しくても、岡垣町の次代を担う子ども達が、喜んで通学することが出来る学校の教育環境を守る予算だけは、確保する努力と心意気を是非示していただきたい。

**町長** 現在、総合的な町の教育全般にわたる課題等について、機関を設定し協議を進めています。

学校教育について、私共も真剣に取り組んでいきたいと思えます。

**教育長** 指摘されている部分につきましては、何回か状況を見に行きました。パイプの詰ま

りなどはそのつど処置をして、それなりに対応してきました。根本的に取り除くには改築をしないとけないとの助言を受けています。夏休み中に下水道工事をを行いますので、それにあわせて出来るものにつきます

ては改善の方向で考えていきます。

**矢島** 一日でも早く改修が行なわれることを強く要望します。

# 竹内

## 公共交通体系の見直しの説明を

### 町長 協議会を設置し検討する



竹内 和男 議員

**竹内** 公共交通体系の見直しの重点分野の説明を求めると

あわせて、そのスケジュールの説明を求めると

**町長** 公共交通体系整備計画見直しを平成20年度に、準備を平成21年度に、スタートを平成22年度に行いたいと考えている。

**竹内** 新規路線増への取り組みはどの様に考えているのか。

**町長** 公共交通のサービスクラス、J.R・路線バス・コミュニティバス相互の乗り継ぎ対策、コミュニティバス自体の路線や料金の再編などが検討課題である。

**竹内** 障がい児学童の取り組みと今後の施策について説明を求めると

**町長** 平成19年3月議会で、民間が建設する総合福祉施設への支援を予算化し、平成20年度に「障がい児学童」事業として、「健全育成と養育負担の軽減」を目的に委託する。



香川県三豊市のコミバス

**竹内** 妊婦健診の拡充(5回)を!!

**町長** 2回から3回に拡充する

**竹内** 妊婦健診の公費負担を少なくとも5回に拡充すべきであるが見解を。

**町長** 妊娠前期に一回、妊娠後期に一回実施しているが平成20年度は3回実施する。

**竹内** 国も妊婦健診については、昨年1月、「5回程度が望ましい」として各自治体に通知している上、全国の自治体で公費負担が5回以上実施するところが増えている。

町長の決意を!!

**町長** 今後も少子化対策として、母子の健康確保を図るために、町の財政状況を勘案しながら対応してまいります。



# 西田

## 食糧費の支出を抑えよ

### 町長 何ら違法な支出ではない



西田 陽子 議員

**西田** 食糧費の定義は何か。

**町長** 行政事務の執行において、内部的、直接的な必要性から支出されるものだ。

**西田** 何のことかわからない。食糧費は、お茶の葉代や簡易な弁当代等だ。

2月27日に351人の署名を添えて監査請求をした。監査委員の報告会に5万円、選挙管理委員会の反省会に3万5千円、新規採用職員との意見交換会に5万円など、9件で合わせて40万円近くの公費支出の返還を求めたものだ。

**町長の見解は。**

**町長** 岡垣町で支出している食糧費は、行政執行を円滑に進めるために必要なものであ

り、住民との協働のまちづくりのために不可欠な経費である。

**西田** 岡垣町は18年度に約350万円の食糧費を支出している。宗像市は124万円、中間市は88万円、直方市は96万円だ。これらの市では円滑にま

**町長** それは、他市の問題であり、岡垣町では議会にも承認を受けて、適正に支出している。食糧費や交際費は、不必要という主張もあるが、日頃からわずかな報酬で献身的に協力いただいている方への感謝であり、更に議論を深め、より良い施策に反映させるために重要な経費である。

**西田** 私も区長さんをはじめ、役付きの方への思いは同じ。

また、先般、野間で痛ましい事件があった。生活苦からのものだ。何とかならなかったのか、

限られた公費はもっと有効に使われるべき。ボランティアで無償で町を支えておられる方も多い。

行政改革の真っ只中、公費での酒食を伴う会合は住民の理解を得られない。見直しを

# 平山

## 乳幼児医療無料制度を就学前までに

### 町長

#### 県の制度改正などを勘案しながら検討する



平山 弘 議員

**平山** 行政への要望として、「子どもの医療費の負担を軽減して欲しい」が一番。

町も乳幼児医療費無料制度を就学前までに拡充すべきではないか。

**町長** 福岡県の三つの公費医療制度が、10月に大幅に改正される。

歳出抑制のねらいもあり、現行の給付水準の維持が難しく

行うべきではないか。

**町長** 食糧費は、公正公平に執行しており、今後も正当な手続きを経て、適正に執行していく。

なる。

**平山** 少子化対策が重要視されているが、子育て世代の経済的困難の上、0歳～14歳は医療費が多くかかる。

県下でも水巻町など12市町村が就学前まで行っている。

県の制度改正と合わせて、就学前までの医療費無料制度を実施すべきではないか。

**町長** 県の制度改正の内容と、町の財政負担を勘案し、判断したい。

○防災問題について

**平山** 2月の町内団地での火



こわくないよ だいじょうぶ

災で、水圧不足で消火活動が手間取ったのではないかと。

**町長** 道路状況など、消火活動が困難な地域がある。

**平山** 消火栓は対象から半径120m以下で直径150mm以上の管に取り付けられていないければならない、という消防基準に達していなかったのではないかと。

**町長** それを補完するため、この団地にはその他消火栓を5ヶ所設置し、対応している。

**平山** 道路の拡幅とあわせて、消火水利の充実が必要ではないか。

**町長** 基準以下の所もある。計画的に防災施策に取り組みていきたい。



# 大堂 ゴミ・消防などの広域事務組合の行 革推進を

## 町長 岡垣町の意向を理事会へ反映し、 推進していきたい



大堂 園治 議員

**大堂** 住民生活に密着した、重要な事業を遠賀4町と中間市と共同で施行している目的は何か。

**町長** 構成市町において共同で事務をすることにより、住民福祉の向上という大きな目的を行なう組織だと考えている。

**大堂** 構成している市町は行革実行で、サービス向上や行政経費の削減に努力しているが、広域行政はだいぶ遅れていると思われるが。

**町長** 理事会の中で審議を行なっており、具体的に動きがあっている。

**大堂** 広域事務組合に対する19年度負担金は約9億4千万円で町予算の12%を占めてお

り、経費削減やサービス向上のため、事業の基本から見直していくべきだが。

**町長** 広域の事務事業の見直しを行なっていくように、理事会で協議したいと考えている。

**大堂** 広域事務組合議会や各構成市町代表による、行革検討委員会では行革案を取りまとめて19年3月に理事会に答申されており、理事会側の決断と実行にかかっているが。

**町長** 行政改革委員会の答申を真摯に受け止めており、理事会の中で審議を進めている。今後も、岡垣町の理事として、考え方を明確に示し、進めていきたいと考えている。

**大堂** 現在の執行体制は構成市町による、理事会制を採用しており、合議制であるために方針決定が非効率で各理事の責任が明確でないので専任理事制の導入を図るべきだが。

**副町長** 広域で検討した結果、法律上、導入できないとの回答を得ている。

**大堂** ゴミ減量やリサイクル向上は環境問題としても重要であり、住民の協力無しでは成果が上がらないので、町としてもアピールしていくことが大事と思うが。

**町長** 環境に優しくということとでアピールしていきたい。



議員全員協議会

# 声 の 住 民 の

## 議会傍聴して



的場 照彦 さん  
野間2区

3月10日、11日一般質問を全ては聞けなかったが、①校区コミュニティ②中心市街地活性化③交際費、食糧費についての質疑を聞く。平成16年遠賀4町合併問題の住民投票で合併反対の結果、町長は住民の意思を尊重して自立の途を選択された。基本方針として受益

と負担、行財政改革、地域住民との協働という言葉で表現されたと記憶しています。行財政改革の現状、平成18年度決算で町基金残高54億円（おかがき広報より）16年当時噂では60億と聞いていました。毎年の基金取崩し5億円前後、そして議会は毎年賛成多数で可決されている。5年後岡垣町の姿をどのように描いておられるのか、町民の代表町長、議員は明確な説明責任を果たすべき時だと思います。10年計画の後半期年度予算は確固たる計画の基で組まれていると認識しています。地域コミュニティ活動に期するものは何か。交際費、食糧費、昨年12月議会での事務事業の外部評価制度の導入問題も含めて内部チェックは殆ど機能不能の現状。地方自治法に基づいて運用との答弁、法律は道徳的範疇と社会通念に照らし運用が肝要と理解します。議会は住民が明日への夢と希望を託しています。

みんなで参加させよう。



○発議1号

道路特定財源の確保に関する意見書

賛成多数可決

反対意見

賛成意見

道路は地方経済の活性化はもとより、教育、医療、福祉などの生活環境の向上を図るうえで最も基礎的な社会資本である。

本町においては、地域間の交流・連携を深めることにより、産業や生活の両面にわた

り地域の活性化を促し、均衡ある発展を図ることが強く求められており、現在進められて

いる岡垣バイパス4車線化事業の早期完成や一般国道の幹線道路をはじめ、生活に密

着した県道、町道の整備を促進することは緊急かつ最重要課題の一つとなっている。ま

た、少子高齢化が進展しているなか、安心・安全の確保や物流の効率化・社会のIT化

支援など、新たな経済構造実現に資する道路の整備を進めることも重要である。

しかしながら、国の「三位一体改革」による国庫補助金

の削減等により、地方の財政

事情はかつてない厳しい状況であり、道路整備を計画的かつ効果的に推進するため

は、その財源確保のほか、国と地方とが適切に役割分担をしつつ、密接な連携を図る必要がある。

このような中、平成19年11月13日に国から今後の具体的な道路整備の姿を示した中期

計画が公表されているが、現

行の道路特定財源の暫定税率等が維持されないこととなれば、地方の振興・発展、本町

の目指す「自主自立のまちづくり」への影響は計り知れない。

よって、国におかれては、次の事項について特段の配慮がなされるよう強く要望する。

なぜですか、

高速道路の建設の特権

町内国道3号線の4車線化や通学歩道など生活密着の道路整備は必要です。

しかし、道路特定財源は10年間で59兆円の道路建設(高速道路、高規格道路が全体の約50%を占める)を推進するためのものです。

無駄な高速道路などを特権的に建設する仕組みになっています。

道路特定財源は一般財源化して、地域の必要な道路、福祉や教育、くらしの課題にも使えるようにしていくべきです。

今、原油高騰の中でくらしと営業が大変になっています。暫定税率も廃止すれば、ガソリン税、軽油税などを軽減することが出来ます。

生活道路と財源の確保はぜひ必要

まだまだ、地方の道路整備は必要。無駄な道路との批判があるが、平成10年と平成18年の比較で国地方合わせて道路予算は約15兆円が8兆円に激減。安全安心の観点から老朽化した橋梁の耐震対策や通学路の改善・歩道の段差解消等を図り、生活道路を確保する。

運送業界等にも配慮し、高速道路料金を40%値下げし、車のユーザー等に対しては自賠責保険の大幅な値下げが4月1日から実施される。暫定税率が廃止されると、岡垣町で8千万円の歳入不足が生じ、県では一切の道路事業が出来ず、道路特定財源の確保は是非必要である。



岡垣バイパス工事中





武道館横のふれ愛の郷



改築された糠塚公民館



# どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は  
6月6日 開会の予定



## 表紙の紹介



春まつり 元気な商工会女性部

## 編集後記

平山 弘

中国製ギョウザの農産物混入事件の真相はまだ。生活するうえで欠かせない食料。安全・安心の関心が高まっている。それにしても農産物の自給率がわずか39%とは、なんとも情けない限りである。

トヨタ自動車などは輸出やグローバル経営で大もうけをしているが、農産物の自由化で農業・農村は疲弊している。日本農業は稲作を中心に果樹・園芸・畜産を営んでいる。

ところが農政局は「米は作りすぎ、もったいない。資源のムダづかい」のポスターを作っている。あーあ農政よ！「負けるものか」、各地で岡垣で、地産地消が広がっている。農業者と消費者の輪。

### 発行責任者

議長 太田 強

### 議会広報特別委員会

- 委員長 三角 善彦
- 副委員長 横山 貴彦
- 委員 石井 要祐
- 委員 西田 陽子
- 委員 平山 弘
- 委員 竹内 和男